

現代アメリカ英語における ‘provide A with B’ 型構文とその類型について

東 真千子・田島 松二

【要 旨】

「AにBを供給する、提供する」等の意味内容を表わす ‘provide A with B’ 型構文とその類型の実態について、アメリカの週刊誌 *Time* コーパスの10年分（1990–1999）を第一次資料として観察した。provide A with B型、provide B for A型、provide B to A型、provide A B型の4つの形式のうち、使用頻度は、provide A with B型、provide B for A型が最も高く、その後にprovide B to A型がつづく。ただし3型とも頻度はそれ程変わらない。非正用法と目されることもある二重目的語型のprovide A B型は使用頻度が極めて低いことがわかった。またAの位置に人がくるか「人以外」がくるかで見ると、provide A B型はAの位置に「人」がくる場合に限って使われ、その他の型では、Aの位置に「人」がくる割合が最も高いのはprovide A with B型、ついでprovide B for A型で、一番低いのはprovide B to A型であった。しかし、Aの位置にくる語句が長くなるほど、provide B for A型やprovide B to A型をとる傾向があることもわかった。

【キーワード】

動詞 provide 現代アメリカ英語 語法 コーパス 二重目的語構文

I

「AにBを供給する、提供する」といった意味内容を provide を用いて表現しようとする、次の3つの前置詞を使った型が一般的である。（ ）内は便宜上の略記である。

- (a) provide A with B (with 型)
- (b) provide B for A (for 型)
- (c) provide B to A (to 型)

加えて、以下に示すような二重目的語を伴う型も稀に見受けられる。

- (d) provide A B (二重目的語型)

これら4つの型の具体例を手許の辞書から示す。(例文中の下線は筆者らのもの。)

- (a) The lecture provided him with an opportunity to meet one of his heroes.
(b) The hotel provides a playroom for children.
(c) We provide a legal advice and services to our clients.

[*Macmillan English Dictionary* (2007) より]

- (d) The phone call provided her an excuse to leave.

[*The BBI Combinatory Dictionary of English* (2009) より]

以上のうち、(d)の二重目的語型は、今日時折見られるものではあるが、英米の一部の辞書は使用を禁止している。その一方で、日本の大抵の辞書はアメリカ英語に見られる用法として容認している。このように、容認度に揺れの見られる二重目的語構文は実際にはどの程度使用されているのであろうか。小論では、provideがよく使われると考えられる新聞・雑誌英語からアメリカの代表的週刊誌 *Time* を資料として、現代アメリカ英語における実態を調べてみたいと思う。使用したコーパスは、Brigham Young UniversityのMark Davies教授が編纂した1億語からなる *Time Corpus* (1923–2006) のうち、1990年から1999年の10年分である。

II

最初に、provideが取る種々の型に関して辞書、語法書等が述べるところを見てみよう。

大半の英米の辞書は、「AにBを供給する、提供する」といった意味で、with型を挙げている。with型に加え、for型、to型の文型と用例を載せているのは、イギリス系のCOD (1951), *Macmillan English Dictionary* (2002), *Oxford Dictionary of English* (2010) である。with型とfor型の用例だけを挙げているのは、UED (1932), 連語辞典のBBI (1986), OALD (2005, 2010), MWCD (2009) である。with型とto型の文型と用例を載せているのは、*Cambridge Dictionary of American English* (2000) のみである。アメリカ系のAHD (1992) はfor型の用例しか載せていない。意味しか載せていない辞書は、アメリカ系のRHD (1983), WNWD (2007) である。小論で特に注目したいprovideの二重目的語構文にふれている辞書は極めて少ない。手許の辞書ではいずれもイギリス系のLDCE (2003, 2009), *Macmillan English Dictionary* (2007), そして英米双方の学者が編纂した連語辞典のBBI (1997, 2009) くらいである。その一つ、LDCE (2003) はwith型とfor型の使用を認めているが、to型と二重目的語型の使用を明確に禁止している。その最新版 (2009) では、with型、for型の文型と用例は示されているが、なぜかto型への言及は省かれている。ただし、LDCE (2003) 同様、二重目的語型の使用は禁止している。*Macmillan English Dictionary* (2007) では、with型、for型、to型の用例を載せているが、二重目的語型については使用を禁止している。BBI (1997, 2009) は、with型、for型、to型の3つの文型と用例を示し、最後に二重目的語型については口語 (colloq.) と表示すると共に、特に米語に見られる用法 (esp. AE) と説明している。

語法書では、アメリカ系の *The Columbia Guide to Standard American English* (1993),

MWEU (1994) は with 型、for 型、to 型の 3 文型と用例を載せている。イギリス系の COBUILD Usage (2004) は with 型、for 型は認めているが、二重目的語型の使用を禁止している。文法書では、Quirk et al. (1972), Quirk et al. (1985), Biber et al. (1999), Cambridge Grammar (2002) などは、部分的に ‘provide A with B’ 型構文とその類型の用例を挙げてはいるが、二重目的語構文については一切言及していない。

一方、わが国の辞書・語法書の見解はどうであろうか。英米の辞書と異なり、大半の辞書が with 型、for 型、to 型、二重目的語型の 4 つの文型と用例を示している。二重目的語構文については、『小学館プログレッシブ英和中辞典 (第 3 版)』(1998)、『リーダーズ英和辞典 (第 2 版)』(1999)、『新英和大辞典 (第 6 版)』(2002) 等は米語に見られる用法とし、加えて、『新英和大辞典 (第 6 版)』(2002) は to 型も米語用法と表示している。『ウイズダム英和辞典 (第 2 版)』(2006) はまれに見られるが正用法とは考えられていないとしている。また『ロングマン英和辞典』(2008) は親版の LDCE (2003) 同様、to 型と二重目的語型の使用を禁止している。語法書では、with 型、for 型、to 型、二重目的語型の 4 つの型すべてについて説明しているのは小西 (1980) のみで、二重目的語型については米語用法としている。安藤 (1995) は、to 型を除く 3 つの型の語義と用例を示し、二重目的語構文については米語法とするものの、頻度は低いとしている。マケーレブ (2006) は with 型、田桐 (1970) は with 型、for 型の文型と用例しか載せていない。

以上のことをまとめると、海外の辞書・語法書で、二重目的語構文の使用を認めているのは連語辞典の BBI (1997, 2009) のみである。それ以外の二重目的語構文を取り上げている辞書・語法書はすべて使用を禁止している。一方、わが国の辞書・語法書で、二重目的語構文の使用を禁止しているのはイギリス系の『ロングマン英和辞典』(2008) のみであり、大半の辞書は米語に見られる用法として容認している。

ところで、これら 4 つの型は歴史的にはいつ頃から見られるようになったのであろうか。OED, MED, Jespersen, Poutsma 等を参考に with 型、for 型、to 型、二重目的語型についてこれまで指摘されている最古の例をそれぞれ挙げてみる。

<with 型>

14 . . in *Tundale's Vis.* (1843) 98With help of her. So prudently with vertu hus to provyde. [OED s.v. Provide v. 8a.]

<for 型>

c1500 (?a1475) *Ass. Gods* 216: What pyne or greef ye for me prouyde, Without any grogyng I shall hit abyde. [MED s.v. providen v. 5. (b)]

<to 型>

(a1420) Lydg. *TB4*. 5598: It was . . . a relik . . . prouided to be same place, zer tabide for a pro-teccioun. [MED s.v. providen v. 5. (a)]

<二重目的語型>

(a1438) *MKempe A* 139/13: A newe broþyr of mym . . . will not comyn in owr Chapel as long as sche is þerin; And þerfor prouydith 3ow an-oþer place, I pray 3ow. [MED s.v. providen v. 5. (a)]

OED と () 内に示された MED の推定制作年代から判断する限り、いずれの型も15世紀に初出している。意外であったことは、今日では非正用法と見なされることもある二重目的語型が他の型同様早くから使われていることである。この二重目的語型については、MED からの上例以外にも、OED (s.v. Provide v. 5.), Jespersen (1927, § 12. 5. 5), Poutsma (1928, pp. 238–239) がそれぞれ16世紀後半、シェイクスピア、ディケンズの用例を記録している。ちなみに、*The Harvard Concordance to Shakespeare* (1969) で provide を調べてみると、これまた意外なことに、シェイクスピアには二重目的語構文が少なくとも8例も見られ、しかも最も一般的な型である。現在、英米の一部の辞書では使用が禁止されている二重目的語構文、さらに to 型構文も歴史的には早くから使用されていたことがわかる。キルヒナー (1970–72) も古い二重目的語構文がアメリカ英語に保全されている動詞の一つに provide を挙げ、数例を添えている。なお、MED や OED によると、古くは 'provide B of A' という of 型も見られたようであるが、今日では廃用に帰している。¹⁾

以上のことを念頭に置きながら、アメリカの週刊誌 *Time* における 'provide A with B' 型構文とその類型について具体的に見てゆくことにする。

III

アメリカの週刊誌 *Time* の10年分 (1990–1999) に見られる 'provide A with B' 型構文とその類型の分布状況は次の通りである。²⁾

| | | |
|--------|-----|----------|
| with 型 | 253 | (34.2%) |
| for 型 | 257 | (34.7%) |
| to 型 | 215 | (29.1%) |
| 二重目的語型 | 15 | (2 %) |
| | 740 | (100 %) |

確認できた740例中、with 型は253例 (34.2%)、for 型は257例 (34.7%) で両型の生起数はほぼ同じである。to 型は、with 型、for 型よりやや少ないものの、これら3つの型はそれぞれ全体の3割前後を占め、使用頻度に大きな差はみられない。むしろ意外であったのは通常代表型と考えられる with 型が圧倒的に多いわけではないこと、また、一部の辞書 (イギリス系の LDCE (2003) や『ロングマン英和辞典』(2008)) がその使用を禁止している to 型が、with 型、for 型とほとんど変わらぬ割合で使用されていることである。とりわけ興味深い点は、二重目的語型は740例中15例 (2%) と極端に少ないことである。このことは二重目的語構文が英米の辞書・語法書等でほとんど取り上げられず、また取り上げられてもその使用が禁止されていることを裏付ける結果を示している。日本の辞書・語法書がこぞって「米語法」と表示するほど頻繁には使われていないと言えるのではなからうか。以上は今回の調査の概観であるが、実例を分析する前

¹⁾ MED と OED はそれぞれ次の例を挙げている。

(a1420) Lydg. *TB* 4. 712: But finally þat I must deye. So dispeired I stonde on euery syde, Of oper helpe I can me nat prouyde. [MED s.v. providen v. 5. (a)]

1547 Boorde *Introd. Knowl.* xiv. (1870) 160 Howbeit the good townes be prouyded of vitels. [OED s. v. Provide v. 8b.]

²⁾ なお 'a car provided with seat belts' (「シートベルトの付いた自動車」) のような「A に B を備えつける」の意味の provide A with B 型構文は統計から除外している。for 型や to 型との交替はあり得ないからである。

に各型の用例を1例ずつ挙げる。

<with 型>

- (1) Still, Morris provides the audience with plenty of inspired entertainment along the way.
(1992/12/28)

<for 型>

- (2) Supporters say the initiative would provide extra protection for elderly victims of securities frauds. (1996/11/04)

<to 型>

- (3) U.S. Tobacco provides significant scholarship money to college cowboy and cowgirl athletes. (1998/09/21)

<二重目的語型>

- (4) Human anatomy provides him a special protection. (1991/06/03)

次に、provide A with B 型、provide B for A 型、provide B to A 型、provide A B 型について、A の位置に「人」か「人以外」を表わす語句がくるかで4つの型の使用状況に違いがみられるかどうか見てみよう。ただし「人」の場合、国、地域、組織、生き物なども含むものとする。

まず with 型であるが、A の位置にくる語句を「人」、「人以外」に分けて見てみると次のようになる。

<with 型>

| | |
|-------|--------------|
| 「人」 | 247 (97.6%) |
| 「人以外」 | 6 (2.4%) |
| | <hr/> |
| | 253 (100 %) |

with 型の場合、253 例中 247 例 (97.6%) で A の位置に「人」がきている。つまり、「人」がほぼ規則的であるといえる。「人以外」は例外的にしか起こらない。そして with 型の場合、A の位置にくる語句は(5)、(6)に示すように1、2語が通例である。(7)は「人以外」の例である。

- (5) Moreover, new laws provide volunteers with the most comprehensive safety net yet.
(1998/06/22)
- (6) Since then the camps have provided these groups with a base from which to wage their struggle to overthrow the Tutsi-dominated government that replaced them in Rwanda.
(1996/11/11)
- (7) Their stony ramparts serve as storm barriers that protect shorelines and provide ships with safe harbor. (1996/09/30)

次に、for 型を見てみよう。

〈for 型〉

| | |
|-------|--------------|
| 「人」 | 227 (88.3%) |
| 「人以外」 | 30 (11.7%) |
| <hr/> | |
| | 257 (100 %) |

for 型の場合、257 例中 227 例 (88.3%) と 9 割近くで A の位置に「人」がきており、1 割強が「人以外」である。with 型の場合ほどではないが、やはり「人」が圧倒的に多い。以下、それぞれ 1 例ずつ挙げる。

(8) It provides basic health coverage for 26 million poor children and adults, but they account for just a quarter of the program's \$ 156 billion annual tab. (1995/12/18)

(9) The poetic populists claim that their efforts are providing fresh blood for an increasingly anemic area of American culture. (1991/12/16)

では、to 型の場合はどうであろうか。

〈to 型〉

| | |
|-------|------------|
| 「人」 | 187 (87%) |
| 「人以外」 | 28 (13%) |
| <hr/> | |
| | 215 (100%) |

to 型の場合、A の位置に「人」がくる割合が 215 例中 187 例 (87%) と、for 型よりさらに低くなっているが、やはり圧倒的に高い。しかし、逆の見方をすれば、to 型は 3 つの型の中で A の位置に「人以外」がくる割合が 28 例 (13%) と最も高くなっている。それぞれ 1 例ずつ挙げる。

(10) Some U.A.W. leaders feared that Caterpillar's success may have provided a tactical lesson to auto-industry executives who will enter their own labor negotiations next year. (1992/04/27)

(11) The Canadian Broadcasting Corp., with its urbane programming, provides a cool antidote to America's increasingly hotheaded airwaves. (1995/08/24)

以上のことから、provide A with B 型、provide B for A 型、provide B to A 型の場合、A の位置には実例の 9 割前後以上で「人」がくるが、その「人」がくる割合がもっとも高いのは with 型であり、その後に for 型、to 型と続く。「人以外」の語句がくる割合が高いのは逆に to 型であり、その後に for 型、with 型がくる。いずれにしろ、A の位置に通常「人」がくるのは間違いないが、「人」と「人以外」がくる場合とでは、3 つの型の頻度が逆転している。また、A の位置にくる語句が上例 (8)、(9)、(11) のように数語からなったり、(10) のように長い修飾語を伴う場合には、そのほとんどが for 型や to 型をとる傾向があることもわかった。

最後に、二重目的語構文について見てみよう。古くから見られる型でありながら、今日では非正用法と見なされる問題の語法であり、全 740 例中 15 例 (2%) と用例数もそれほど多くない

ので、以下に全用例を記録しておく。

- (12) That provides him the freedom for self-discovery and for developing peaceable relationships with the Indians, as well as a romance with Stands with a Fist, a white woman who was taken captive by Indians as a child (hauntingly played by Mary McDonnell). (1990/11/12)
- (13) The very fact that many Soviets have been stockpiling foodstuffs at home, though it provides them a cushion against the future, has only added to the sense of shortages in the stores. (1990/12/10)
- (14) Human anatomy provides him a special protection. (1991/06/03)
- (15) Now, however, there is growing grass-roots pressure to provide Americans access to the pill, which induces an abortion when taken during the first trimester. (1991/12/20)
- (16) But that doesn't require any company to provide him an outlet. (1992/03/20)
- (17) Each attempt to find a solution to the exiles' predicament . . . or at least to provide them temporary relief . . . was going nowhere. (1993/01/11)
- (18) It would also provide household workers some of the benefits . . . such as reliable Social Security enjoyed by those of us who work in the grownup economy. (1993/03/05)
- (19) The ice has been his friend and partner, providing him a surface upon which to set world records and achieve fame . . . that is, out of the Olympic spotlight, on ovals in the Netherlands, Canada and Wisconsin. (1994/02/28)
- (20) If ((Democrats)) provide me a hearing, their President is likely to be embarrassed. (1994/03/28)
- (21) All seniors, rich or poor, are provided hospital coverage with modest deductibles and . . . for \$46.10 a month . . . nearly all purchase a supplemental plan that helps pay the cost of visits to the doctor. (1995/02/27)
- (22) Havana, which had provided him rich refuge for a decade, seemed to decide the moment had arrived to offer him up to the U.S., which had been chasing him unsuccessfully for 23 years. (1995/06/19)
- (23) But he's never had an opportunity to display those qualities with the subtlety Crowe provides him here. (1996/12/16)
- (24) But the exhibit does not simply provide visitors a chance to look at one big, beautiful book. (1997/06/09)
- (25) Clinton aims to set an example by announcing at the conference that the Federal Government will begin providing its employees equal benefits for mental and nonmental ailments. (1999/06/07)
- (26) It not merely provides them financial sustenance but also draws them together with like-minded folk, offering encouragement, rewarding unique talents and interests, giving an outlet for their eccentricities and individuality and in some cases rescuing them from the margins where they would otherwise languish alone. (1999/12/27)

上に示した通り、全15例すべてでAの位置に「人」がきている。つまり、Aの位置に「人」がくる場合に限って二重目的語構文が使われていることがわかる。

IV

以上、「A に B を供給する、提供する」等の意味内容を表わす provide A with B 型、provide B for A 型、provide B to A 型、provide A B 型構文について、アメリカの週刊誌 *Time* コーパスの 10 年分 (1990-1999) を第一次資料としてその生起状況を観察してきた。with 型、for 型、to 型、二重目的語型の 4 つの形式のうち、使用頻度をみると with 型、for 型が最も高く、その後 to 型がつづく。ただし 3 型間の頻度はそれ程変わらない。しかし二重目的語型の使用頻度は格段に低い。イギリス英語のデータがないので現時点で断定的なことは言えないが、日本の辞書・語法書が「米語法」と表示するほどアメリカ英語においても使われていないことがわかった。また、4 型において、A の位置に「人 (国、地域、組織、生き物などを含む)」がくる構造が基本型であるが、二重目的語型は A の位置に「人」がくる場合に限って使われており、その他の型では A の位置に「人」がくる割合が最も高いのは with 型で、次いで for 型、一番低いのは to 型である。しかし、A の位置にくる語句が長くなるほど、for 型や to 型をとる傾向があると言えるようである。

参考文献 (小論で言及したもののみ挙げる)

- AHD = *The American Heritage Dictionary of the English Language*. 3rd ed. Boston: Houghton Mifflin, 1992.
- BBI (1986, 1997, 2009) = *The BBI Combinatory Dictionary of English*. Comp. by Morton Benson, Evelyn Benson and Robert Ilson. 1st ed. (1986), rev. ed. (1997), 3rd ed. (2009). Amsterdam: John Benjamins.
- Cambridge Grammar = R. Huddleston and G. K. Pullum, *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge: Cambridge University Press, 2002.
- Cambridge Dictionary of American English*. Cambridge: Cambridge University Press, 2000.
- Collins Cobuild = *Collins Cobuild English Usage*. 2nd ed. Glasgow: HarperCollins, 2005.
- COD = *The Concise Oxford Dictionary*. 4th ed. Oxford: Clarendon Press, 1951.
- Jespersen, Otto, *A Modern English Grammar on Historical Principles*, Part III. Copenhagen: Ejnar Munksgaard, 1927.
- LDCE = *Longman Dictionary of Contemporary English*. New ed. (2003), 5th ed. (2009). Harlow, Essex: Longman.
- Longman Grammar = Douglas Biber, et al., *Longman Grammar of Spoken and Written English*. Harlow, Essex: Longman, 1999.
- Macmillan English Dictionary for Advanced Learners*. 1st ed. (2002), 2nd ed. (2007). Oxford: Macmillan Education.
- MED = *Middle English Dictionary*, ed. H. Kurath, S. M. Kuhn and R. E. Lewis. Ann Arbor, MI: The University of Michigan Press, 1952-2001.
- MWCD = *Merriam-Webster's Collegiate Dictionary*, 11th ed. Springfield, MA: Merriam-Webster, 2009.
- MWDEU = *Merriam-Webster's Dictionary of English Usage*. Springfield, MA: Merriam-Webster, 1994.
- OALD = *Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English*. 7th ed. (2005), 8th ed.

- (2010). Oxford: Oxford University Press.
- OED = *The Oxford English Dictionary*, ed. James A. H. Murray, et al. Oxford: Clarendon Press, 1933.
- Oxford Dictionary of English*. 3rd Revised ed. Oxford: Oxford University Press, 2010.
- Poutsma, Hendrik, *A Grammar of Late Modern English*, Part I. 2nd ed. Groningen: P. Noordhoff, 1928.
- Quirk, Randolph, S. Greenbaum, G. Leech and J. Svartvik. *A Grammar of Contemporary English*. London: Longman, 1972.
- . *A Comprehensive Grammar of the English Language*. London: Longman, 1985.
- The Random House dictionary of the English language*. Unabridged ed. New York: Random House, 1983.
- Spevack, Marvin. *The Harvard Concordance to Shakespeare*. Hildesheim: Georg Olms Verlag, 1969.
- UED = *The Universal Dictionary of the English Language*. London: Routledge & Kegan Paul, 1932.
- Wilson, Kenneth G., *The Columbia Guide to Standard American English*. New York: Columbia University Press, 1993.
- WNWD = *Webster's New World College Dictionary*, 4th ed. Cleveland, OH: Wiley, 2007.

- 安藤貞雄・山田政美編『現代英米語用法事典』研究社, 1995.
- キルヒナー, G./前島儀一郎ほか訳『アメリカ語法事典』大修館書店, 1983.
- 小西友七編『英語基本動詞辞典』研究社, 1980.
- 田桐大澄『英語正用法辞典』研究社, 1970.
- マケーレブ『動詞を使いこなすための英和活用辞典』朝日出版社, 2006.

- 『ウィズダム英和辞典 (第2版)』三省堂, 2006.
- 『小学館プログレッシブ英和中辞典 (第3版)』小学館, 1998.
- 『新英和大辞典 (第6版)』研究社, 2002.
- 『リーダーズ英和辞典 (第2版)』研究社, 1999.
- 『ロングマン英和辞典』桐原書店, 2007.